環状道路の形成が
更なる地域の発展へ

国道 42 ROUTE

# 松阪多気バイパスのストック効果

令和6年5月

国道42号 松阪多気バイパス整備効果検討会

三重県　松阪市　多気町　国土交通省

# 目次

## 概要


○事業概要 ・・・・・P1

○位置図 ・・・・・P2


## 渋滞緩和・踏切解消・交通安全


○中心市街地の渋滞緩和が期待！ ・・・・・P3

○踏切による遮断が「ゼロ」に！ ・・・・・P4

○中心地市街地の死傷事故率が5割も減少！ ・・・・・P5


## 産業支援


○企業の生産性向上を支援！ ・・・・・P6

○地域産業の更なる発展を支援！ ・・・・・P7

○集積する物流施設　市内の「ものづくり」を支援！ ・・・・・P8

○沿線に立地が進展　バイパスを利用し企業が連携！ ・・・・・P9

○世界トップシェア製品の輸送を支援！ ・・・・・P10


## 観光支援


○国内最大級滞在型複合施設へのバスアクセス機能を強化！ ・・・・・P11


## 沿道開発


○宅地開発が進み定住人口が増加！ ・・・・・P12

○企業の沿線進出と地域の雇用創出！ ・・・・・P13


## 生活交通の支援


○買物など日常生活に便利なバイパスルートが誕生！ ・・・・・P14

○安心して高度な医療を受けることができるまちに！ ・・・・・P15

# 事業概要

国道42号松阪多気バイパスは、松阪市街地の環状機能を併せ持ち、市街地の慢性的な交通渋滞の緩和を目的に計画された、三重県松阪市古井町から多気郡多気町仁田に至る延長11.9kmの幹線道路です。

松阪多気バイパスは、平成29年度の松阪市下蛸路町から八太町間（延長1.1km）の開通により、現道活用区間を含め、全線が暫定2車線で繋がりました。

松阪多気バイパスが繋がることにより松阪市街地を迂回するネットワークが形成され、渋滞・交通事故の減少はもとより、企業活動の生産性向上・沿道開発の促進など様々な整備効果が期待されます。

虹が丘1交差点付近から多気町方面を望む

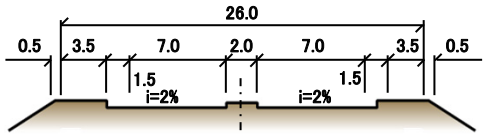
## ❖計画の概要

| | |
|---|---|
| 事業区間 | 三重県松阪市古井町（まつさかしこいちょう）～多気郡多気町仁田（たきぐんたきちょうにた） |
| 全体延長 | 11.9km |
| 規格 | 3種1級 |
| 設計速度 | 80km/h |
| 車線数 | 完成4車線（暫定2車線） |

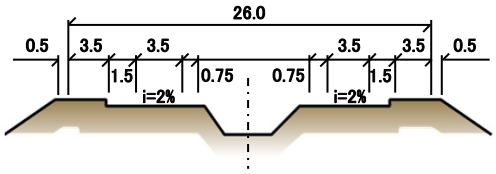
## ❖標準断面図

単位：m

完成



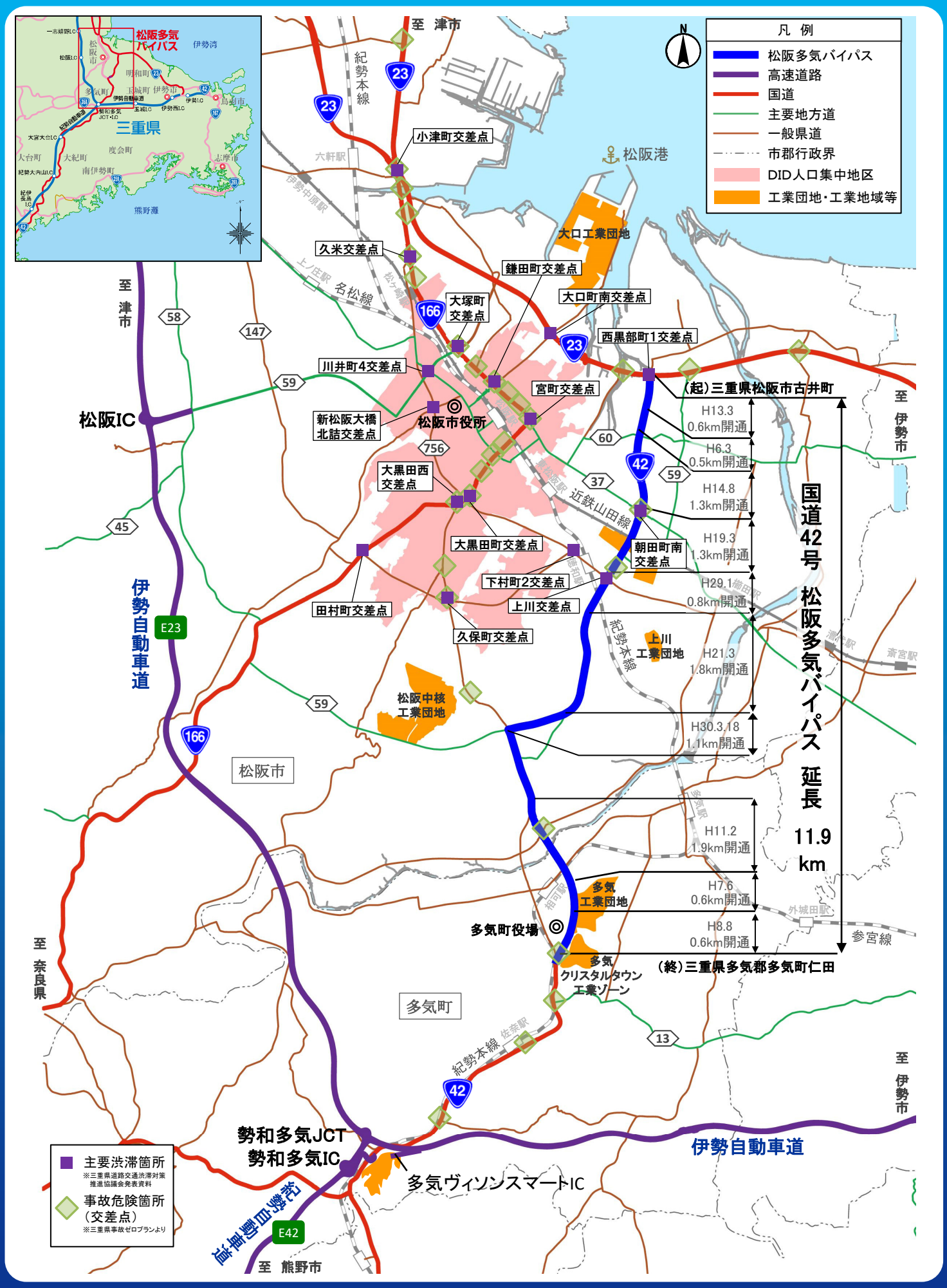

暫定




## ❖松阪多気バイパスのあゆみ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 昭和62年度 | 松阪市射和町～多気町仁田 | 事業化〔延長3.1km〕 | |
| 平成元年度 | 松阪市古井町～松阪市射和町 | 事業化〔延長8.8km〕 | |
| 平成7年度～ | | | |
| 平成10年度 | 松阪市射和町～多気町仁田 | 開通〔延長3.1km〕 | |
| 平成5年度～ | | | |
| 平成14年度 | 松阪市古井町（国道23号）～朝田町（県道37号） | 開通〔延長2.4km〕 | |
| 平成18年度 | 松阪市朝田町（県道37号）～上川町 | 開通〔延長1.3km〕 | |
| 平成20年度 | 松阪市虹が丘町～下蛸路町 | 開通〔延長1.8km〕 | |
| 平成28年度 | 松阪市上川町～虹が丘町 | 開通〔延長0.8km〕 | |
| 平成29年度 | 松阪市下蛸路町～八太町 | 開通〔延長1.1km〕 | ※現道活用区間［延長1.4km］を含め全線暫定2車線で開通 |
| 平成30年度 | 朝田立体事業着手 | | |
| 令和元年度 | 国道42号小津町～八太町を県に移管<br>朝田立体事業着手 | | |

# 位置図

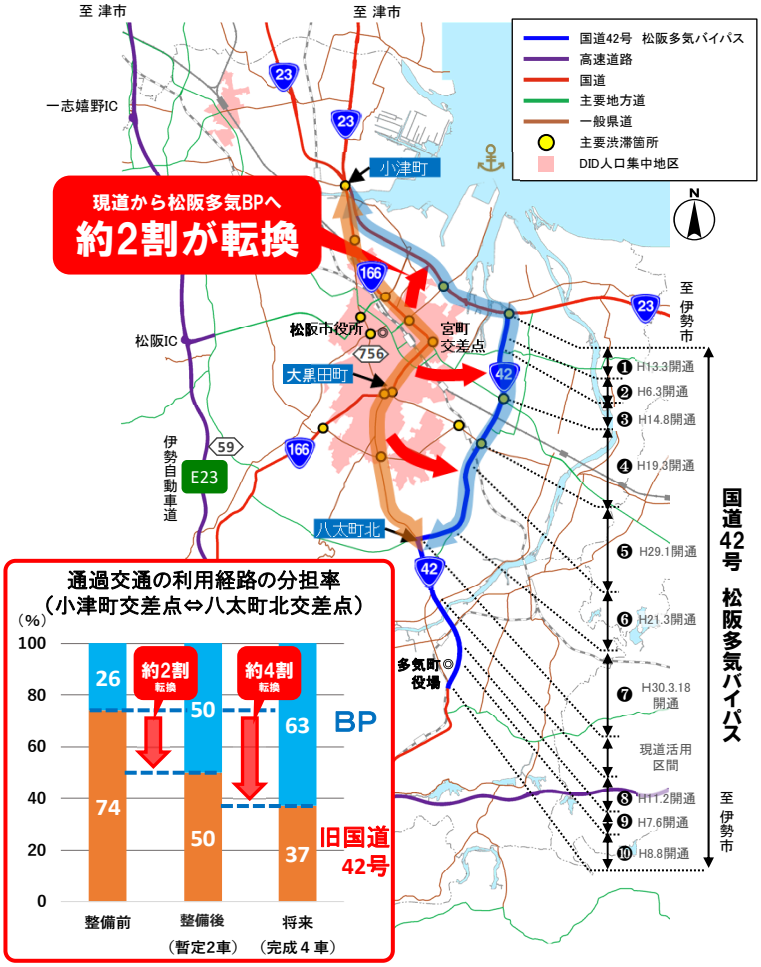

凡 例
松阪多気バイパス
高速道路
国道
主要地方道
一般県道
市郡行政界
DID人口集中地区
工業団地・工業地域等
至 津市
紀勢本線
小津町交差点
松阪港
大口工業団地
久米交差点
鎌田町交差点
大口町南交差点
大塚町交差点
西黒部町1交差点
川井町4交差点
宮町交差点
(起)三重県松阪市古井町
新松阪大橋北詰交差点
松阪市役所
松阪IC
大黒田西交差点
大黒田町交差点
朝田町南交差点
下村町2交差点
上川交差点
田村町交差点
久保町交差点
上川工業団地
松阪中核工業団地
松阪市
伊勢自動車道
E23
H13.3 0.6km開通
H6.3 0.5km開通
H14.8 1.3km開通
H19.3 1.3km開通
H29.1 0.8km開通
H21.3 1.8km開通
H30.3.18 1.1km開通
H11.2 1.9km開通
H7.6 0.6km開通
H8.8 0.6km開通
国道42号 松阪多気バイパス 延長 11.9 km
多気工業団地
多気町役場
多気クリスタルタウン工業ゾーン
(終)三重県多気郡多気町仁田
多気町
至 伊勢市
至 奈良県
紀勢本線
近鉄山田線
名松線
参宮線
勢和多気JCT
勢和多気IC
多気ヴィソンスマートIC
伊勢自動車道
E42
至 熊野市
主要渋滞箇所
※三重県道路交通渋滞対策推進協議会発表資料
事故危険箇所（交差点）
※三重県事故ゼロプランより
松阪多気バイパス
伊勢湾
三重県
熊野灘



2024.5

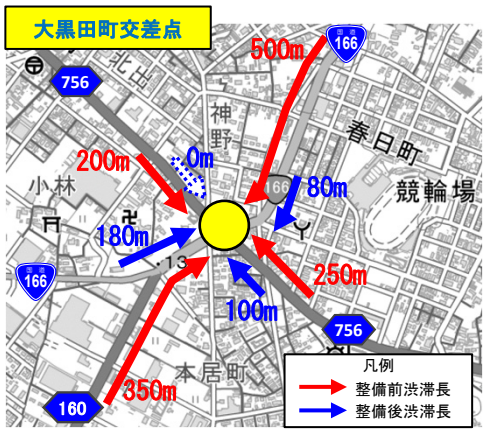
# 中心市街地の渋滞緩和に期待！

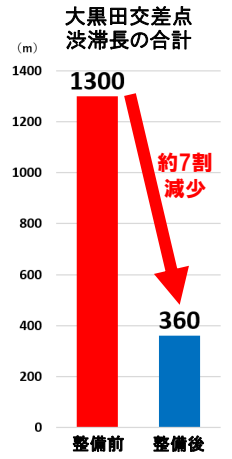
❖松阪多気バイパス全線開通により、多気町方向から津方面の通過交通の50%がバイパスルートを利用。
　一方で、依然として通過交通の半数が旧国道42号を走行しており、松阪中心市街地では慢性的な渋滞が発生。
❖松阪多気バイパスの整備により環状機能が強化され、松阪市中心部にある大黒田町交差点の渋滞が約7割減少。
❖松阪多気バイパスは旧国道42号に対して、信号交差点数が約3割少なく、スムーズな走行が可能に。




※暫定2車開通前：ETC2.0プローブデータ（H28年9月～11月：平日24時間）
　暫定2車開通後：ETC2.0プローブデータ（R1年9月～11月：平日24時間）
　将来（完成4車）：将来交通量により推計

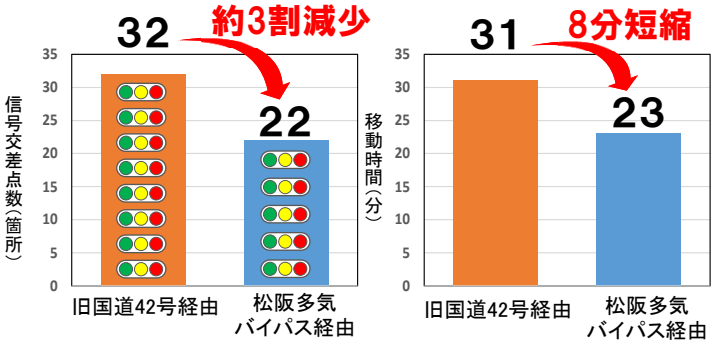
## 大黒田町交差点の渋滞長の変化




※整備前：渋滞長調査（H18.6.22(水)8時台）
　整備後：渋滞長調査（R5.10.12(木)8時台）

## 小津町交差点から八太町北交差点までの信号交差点数と移動時間




※小津町交差点から八太町北交差点までの国道42号経由と
　南勢バイパス・松阪多気バイパス経由の信号交差点数について比較
※平日ETC2.0データ（R1.12月）16-18時台　平均旅行速度より算出



2024.5

# 踏切による遮断が「ゼロ」に！

県道59号とJR紀勢本線 第三高田踏切

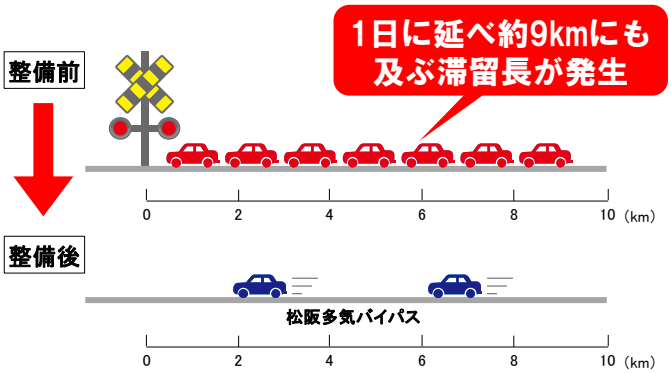
❖建設中の松阪多気バイパスと並行する県道59号松阪第2環状線は、JR紀勢本線の踏切により、1日に85回（約1.6時間）交通が遮断。

❖踏切の遮断による車両の滞留長は1日に延べ約9kmにも及び、通勤や物流に支障。

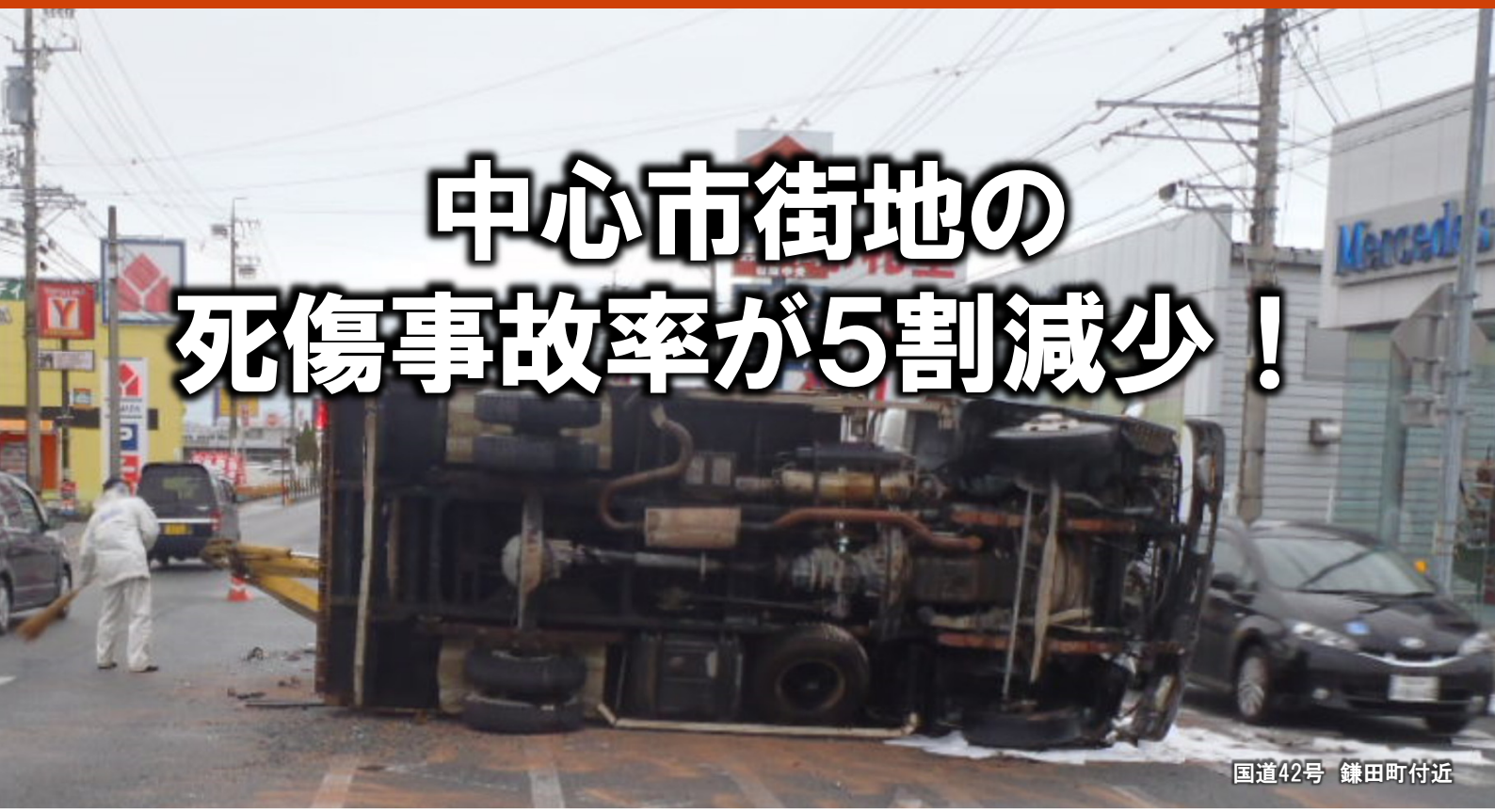
❖松阪多気バイパスの整備によりJR紀勢本線と立体交差となったことで、踏切による遮断が「ゼロ」となり、円滑な交通が実現。

## 鉄道との立体交差化により遮断交通がゼロに！

【平日1日あたりの車両の滞留長】

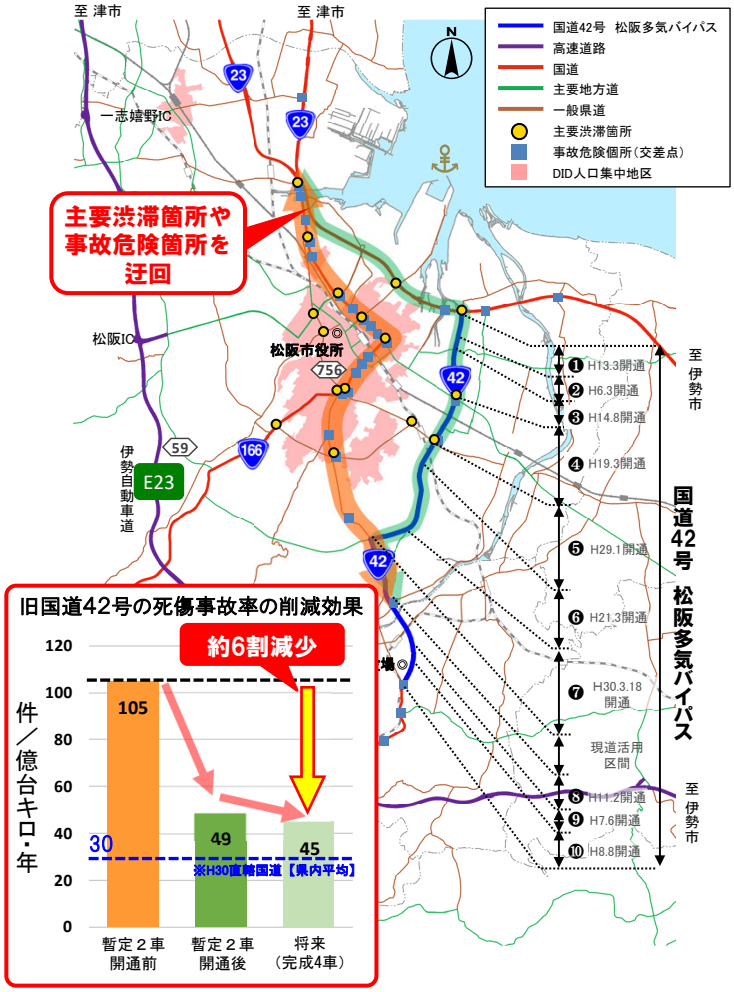



※紀勢国道事務所　踏切実態調査結果より作成
※H28年10月18日　5時～23時（平日）



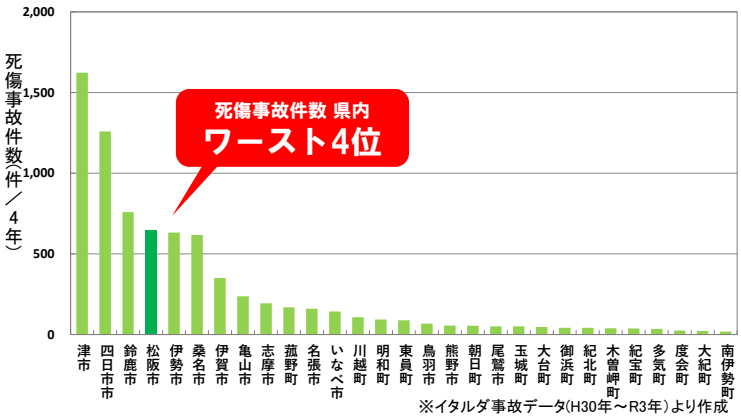

❖松阪多気バイパス開通前の松阪市における死傷事故件数は三重県内ワースト4位となっており、また、旧国道42号の死傷事故率は県内直轄国道平均の約3倍でした。

❖松阪多気バイパスの全線開通後は通過交通が転換することにより、松阪中心市街地における死傷事故率が約5割減少、松阪多気バイパスの4車線化によりさらなる死傷事故率の減少に期待。



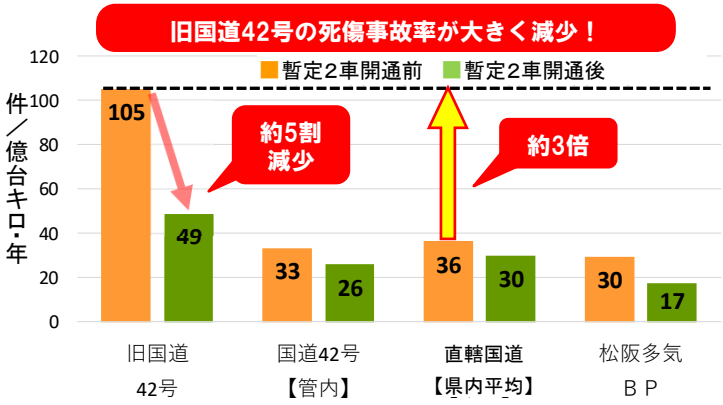

※暫定２車開通前　：交通事故統合データベース（H27年～H29年平均値）
　暫定２車開通後　：交通事故統合データベース（H30年）
　将来（完成4車）：将来交通量により推計

## 三重県における死傷事故件数のワースト順位




※イタルダ事故データ(H30年～R3年)より作成

## 松阪市における死傷事故率の変化




※暫定２車開通前：交通事故統合データベース（H27年～H29年平均値）
　暫定２車開通後：交通事故統合データベース（H30年）



2024.5

# 産業支援

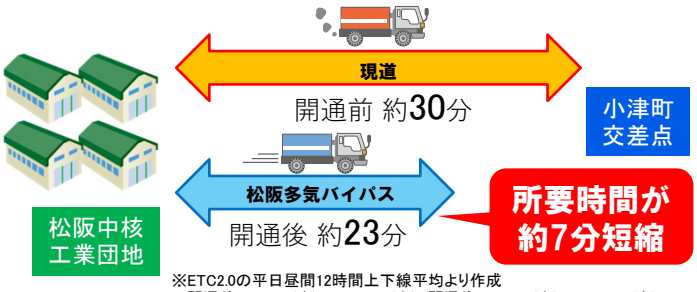
❖110haの広大な敷地に25社が立地し、約2,000人が働く地域の生産・流通のネットワーク拠点である松阪中核工業団地。

❖松阪多気バイパスの整備により、松阪中心市街地を迂回する信頼性の高い物流ネットワークが形成され、工業団地内に立地する企業の生産性向上を支援。

❖松阪多気バイパス整備開始以降に松阪市と多気町に新たに立地した工場の立地理由に交通の良さを挙げる企業が多い。

## 松阪多気バイパス整備による所要時間の変化

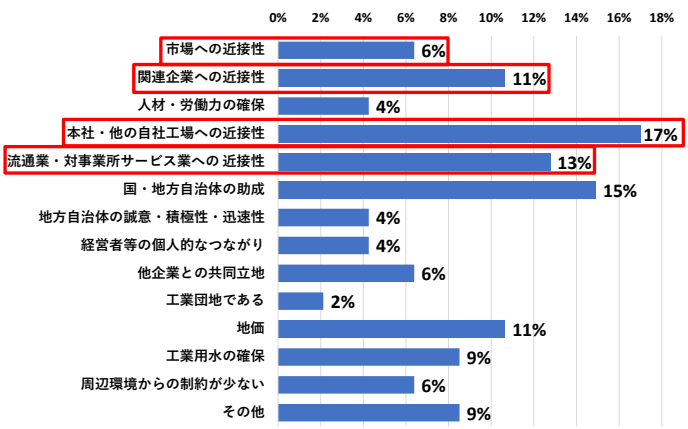
松阪中核工業団地～小津町交差点の所要時間




※ETC2.0の平日昼間12時間上下線平均より作成
開通前：H30.3.1(木)～H30.3.17(土)　開通後：H30.5.1(火)～H30.5.31(木)

## 松阪市と多気町の工場立地選定理由（H6以降）

**松阪多気バイパスをはじめとする道路整備が工場立地に貢献**



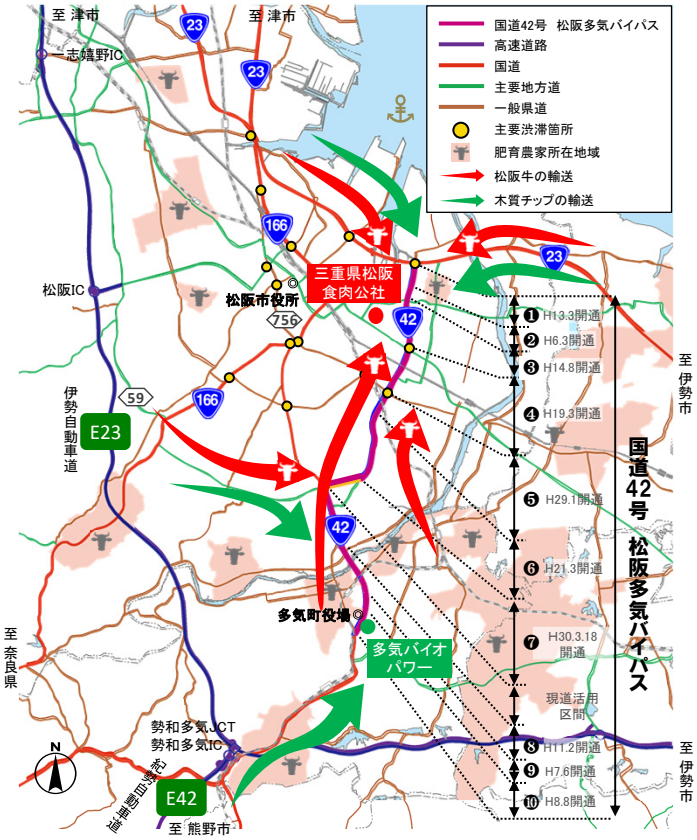

※工場立地動向調査（H6～R3）より作成

# 地域産業の更なる発展を支援！

❖ 日本3大和牛である「松阪牛」の食肉加工（と畜）頭数は年々増加し、松阪市の食肉加工頭数は20年で約5倍に増加。

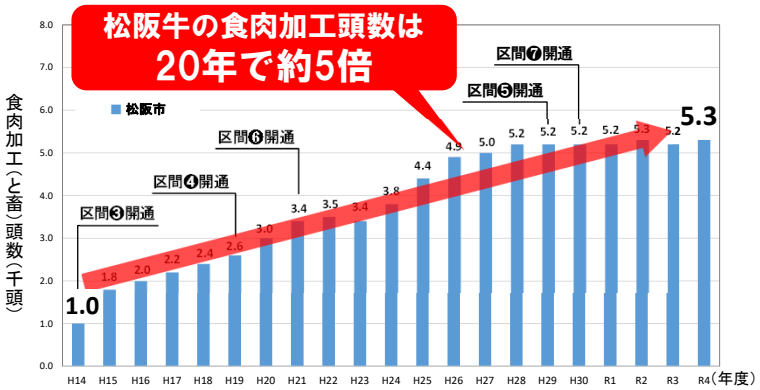
❖ 平成28年6月に運転を開始した木質バイオマス発電所「多気バイオパワー」では、燃料である木質チップが三重県内をはじめ、近隣県から週5日間、10t車で20台／日以上運び込まれ、年間約5千万kWhを発電。

❖ 松阪多気バイパスの整備により、松阪中心市街地を迂回する信頼性の高い物流ネットワークが形成され、地域産業の更なる発展を支援。



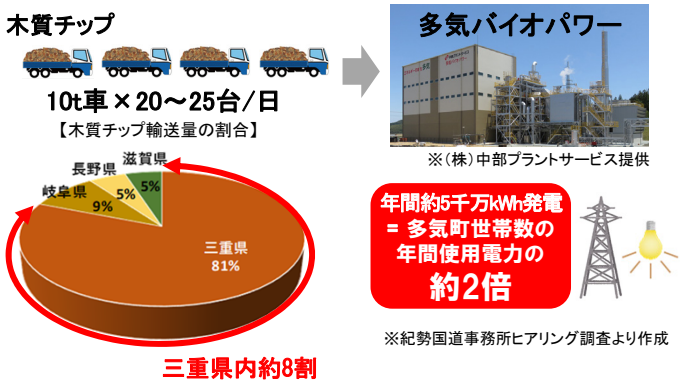

※肥育農家所在地域は松阪市提供資料を基に紀勢国道事務所にて作成
農家が所在する町字名を着色

## 松阪牛の食肉加工（と畜）頭数の推移（松阪市）




※松阪市提供資料より作成

## 木質チップの輸送から発電までの流れ




※紀勢国道事務所ヒアリング調査より作成

# 集積する物流施設
# 市内の「ものづくり」を支援！

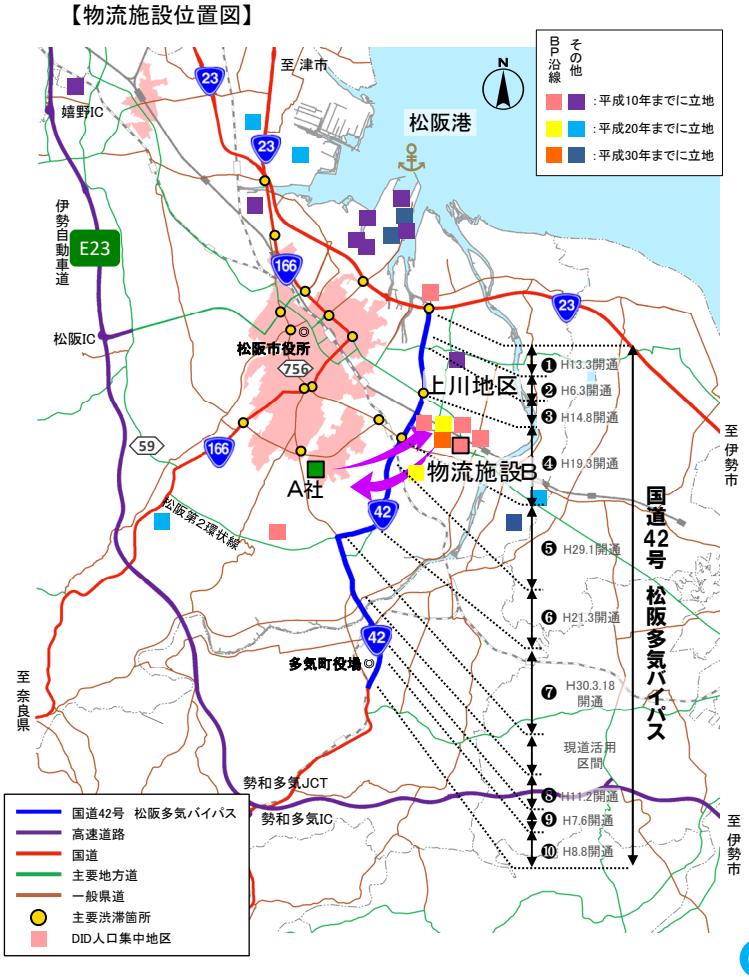
上川地区の物流施設B

❖松阪多気バイパスの沿線や周辺では、近年、バイパス整備とともに、物流倉庫や物流センターなどの物流施設が進出。

❖上川地区では、部品の在庫管理や供給を行う、市内の製造工場などの「ものづくり」を支援する物流施設が多数立地。

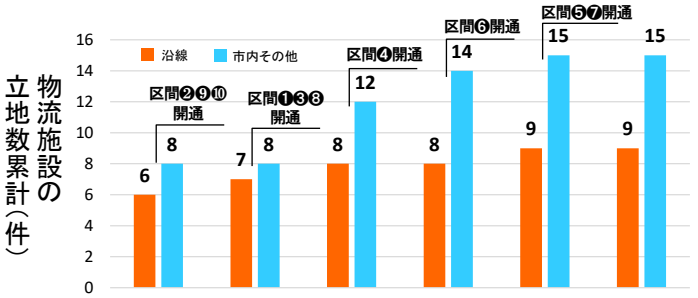
❖血圧計世界シェアNO.1のA社は、効率的な生産の為に工場内で実施していた部品の在庫管理を、松阪多気バイパス供用を見越して、H27年に立地した物流施設Bに委託。

【物流施設位置図】




## 松阪市の主な物流施設の立地状況

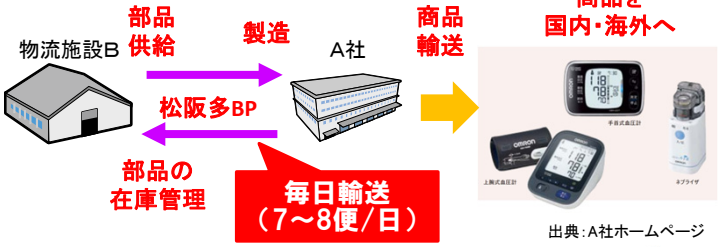
**松阪多気バイパス沿線だけでなく周辺にも多く立地**




※ 主な物流施設：物流倉庫・物流センター等
※ 紀勢国道事務所調べ

## 松阪多気バイパスを利用した支援の事例

ものづくり支援事例




出典：A社ホームページ

輸送商品は繊細な物のため、H28年度開通により、走行性が高まったことは非常にありがたいです。
暫定全線開通により、部品供給の増便も検討できます。

［物流施設Bの声］

※紀勢国道事務所ヒアリング調査より作成

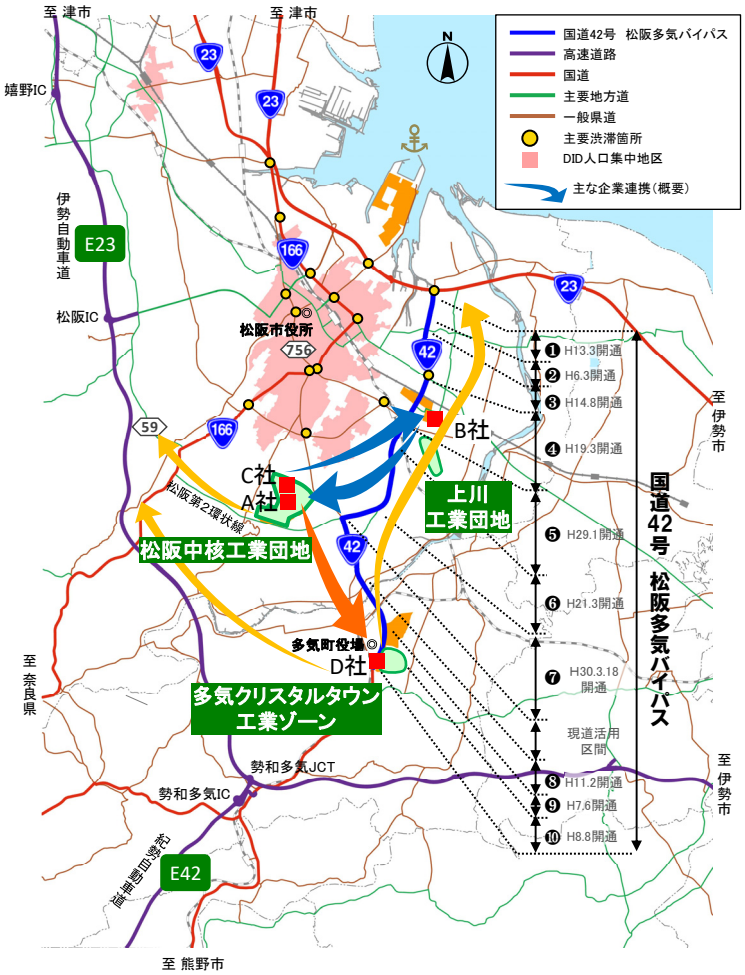
2024.5

# 沿線に立地が進展
# バイパスを利用し企業が連携！

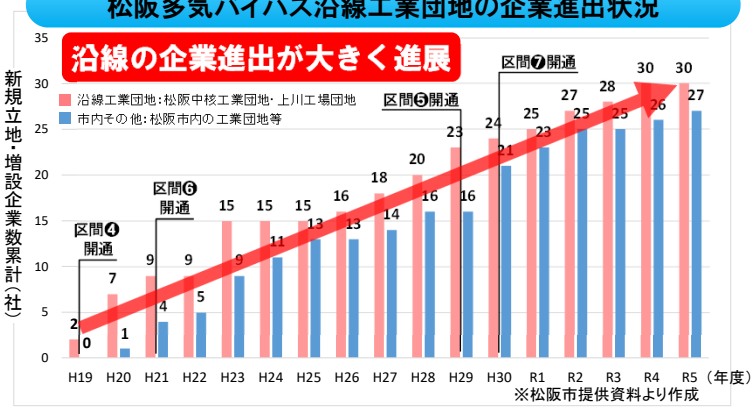
松阪多気バイパスを利用する物流車両

- ❖上川工業団地や松阪中核工業団地では、松阪多気バイパスの整備とともに企業の新規立地・増設が堅調。
- ❖世界シェアトップレベルの自動車部品メーカーA社は、松阪多気バイパスを利用して、沿線の工場、関連会社B社と連携。
- ❖また、松阪多気バイパス沿線の医薬品メーカーD社と、国内トップクラスの油脂類製造メーカーC社は、商品開発で連携して新たにハンドクリームを商品化。

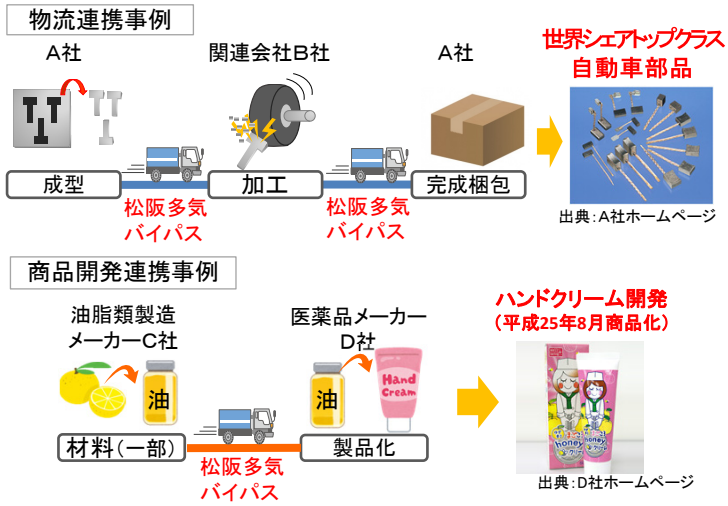
【市内の主な企業連携イメージ】




## 松阪多気バイパス沿線工業団地の企業進出状況




## 松阪多気バイパスを利用した企業連携の事例




※紀勢国道事務所ヒアリング調査より作成

# 世界トップシェア製品の輸送を支援！

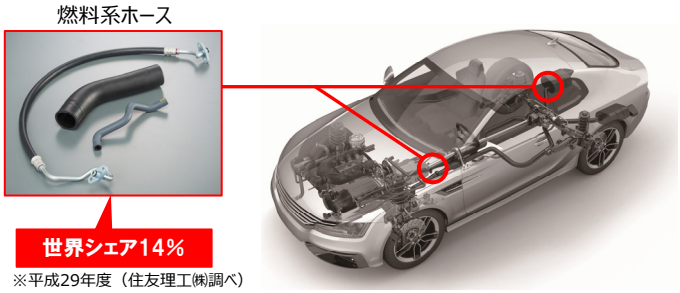
住友理工㈱松阪製作所

❖住友理工㈱松阪製作所は、世界シェア3位（国内シェアNo.1）の自動車用ホースを製造し、関連会社である㈱住理エロジテックが松阪物流センターから松阪多気バイパスを利用し国内外へ毎日輸送。

❖松阪物流センターは、松阪多気バイパスなど物流のための道路網が整備されている等の理由で当地区に立地。

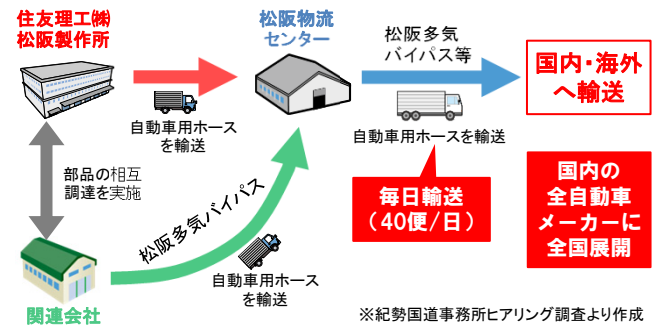
【製品の輸送ルート】

## 世界トップシェアの燃料系ホース



※平成29年度（住友理工㈱調べ）

## 自動車用ホースの輸送の流れ



※紀勢国道事務所ヒアリング調査より作成

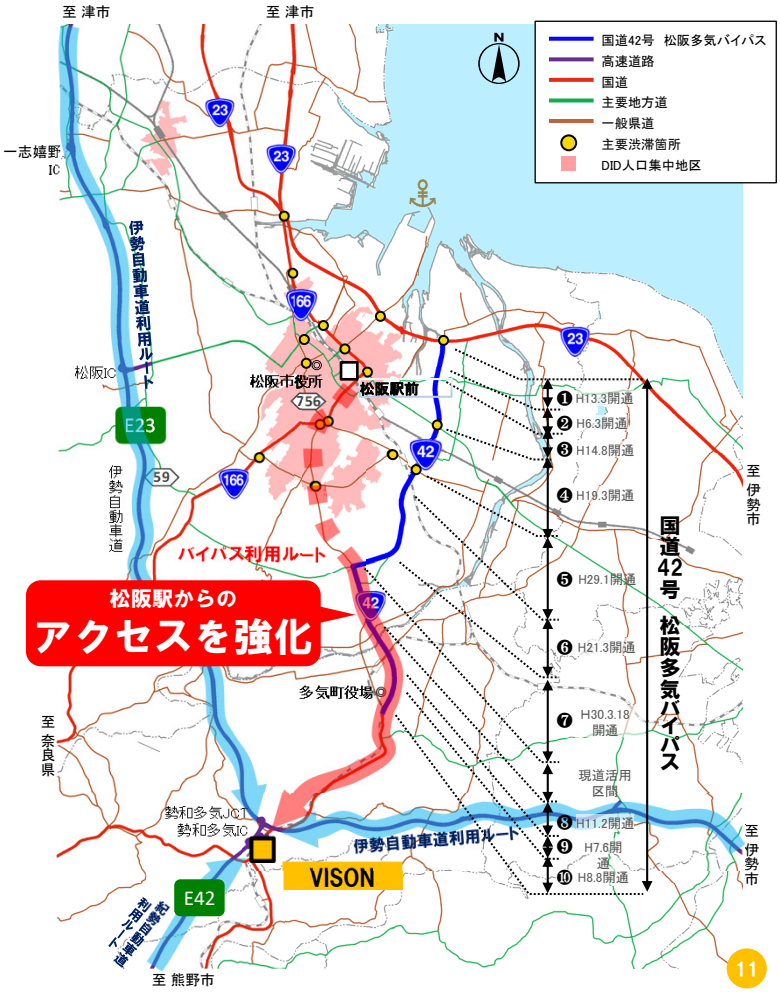
住友理工㈱松阪製作所の近傍であり、比較的広い敷地が確保でき、松阪多気バイパスをはじめ物流のための道路網が整備されていることが立地理由です。

[㈱住理エロジテック松阪物流センターの声]
※紀勢国道事務所ヒアリング調査より作成

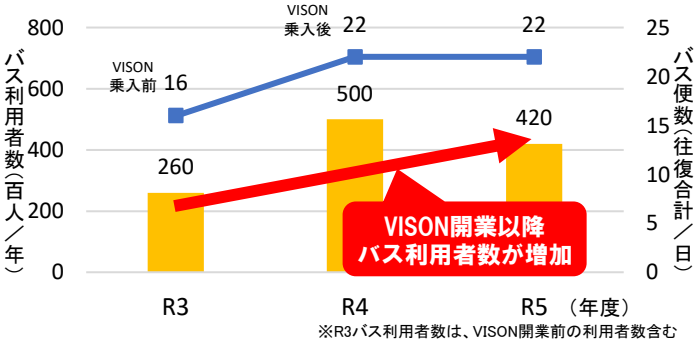
# 国内最大級滞在型複合施設へのバスアクセス機能を強化！

VISON（多気町）

- ❖2021年夏、国内最大級の滞在型複合施設「VISON[ヴィソン]」が多気町に開業。
- ❖松阪多気バイパスの整備により、多くの来訪者が見込まれるVISONへのバスアクセスルートを強化することで、スムーズな来訪と地域活性化を支援。
- ❖併せて、VISON内のバスターミナル整備とバス路線の再編により、VISONを中心とした公共交通ネットワーク（7路線が運行）を整備、うち3路線が松阪多気BPを利用。（松阪市⇔VISON間を11往復/日が運行）



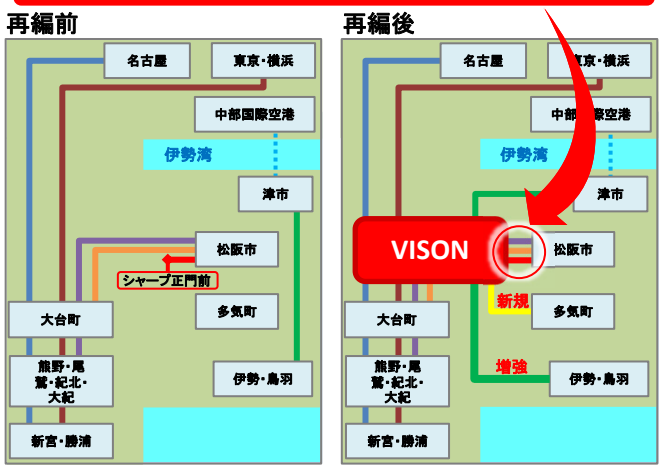

## 松阪多気BP（松阪市⇔VISON）利用路線のバス利用者数




※R3バス利用者数は、VISON開業前の利用者数含む
※三重交通株式会社提供資料より作成

## VISONを拠点とした三重県南部のバス路線再編

松阪多気BP（松阪市⇔VISON）を3路線（11往復/日）が運行




※三重交通株式会社公表資料より作成

2024.5

# 沿道開発

❖松阪多気バイパスの沿道地域（多気町）では平成17年から令和5年にかけて10%人口が増加。

❖その中でも多気町役場周辺では住宅団地が形成されるなど特に人口の増加率が高い。

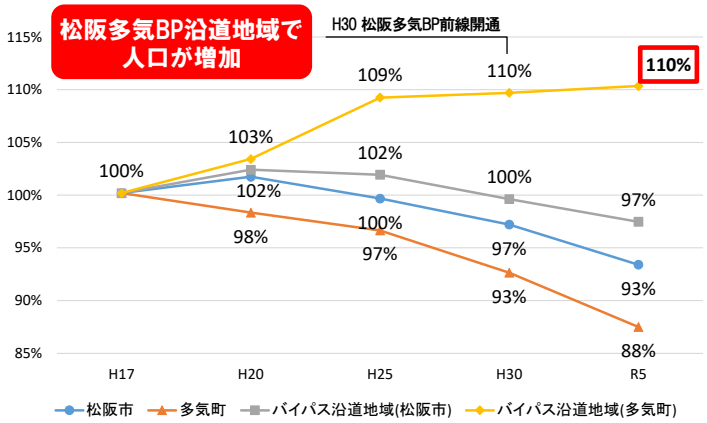
【松阪多気バイパスの整備による変化】

整備前

整備後

出典：国土地理院空中写真

## 松阪多気BP沿道の人口推移




※紀勢国道事務所ヒアリング調査より作成

## 松阪多気BP周辺の人口推移（H27年/H12年）

※国勢調査より作成

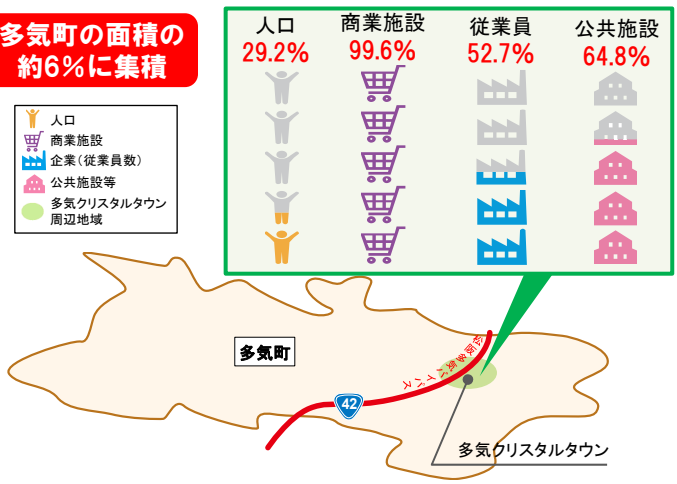
※バイパス沿道地域とは松阪多気バイパスが通過する町字

# 企業の沿線進出と地域の雇用創出！

❖松阪多気バイパスの整備と合わせ、多気町では「住居、商業、工業、公共施設等」が集積したコンパクトシティがバイパス沿道に形成され、町の面積の約6%の地域に人や施設が集積。

❖コロナ禍においても令和3年以降に新たに3社の工場稼働が決まり、多気町の雇用創出にも大きく貢献し、地域活性化に期待。

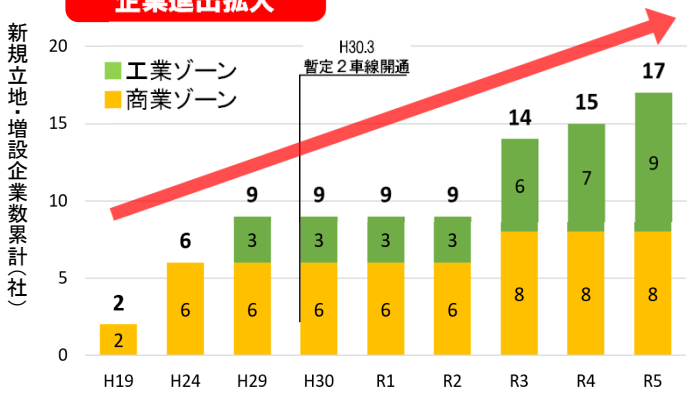
## 多気町の面積の約6%に集積




※多気クリスタルタウン周辺地域：多気クリスタルタウンを含む松阪多気バイパス沿道の多気町相可・仁田周辺地域
人口：平成27年国勢調査より作成
商業施設：多気町内のスーパーマーケットの敷地面積を紀勢国道事務所にて算出
企業（従業員）：平成26年経済センサスより作成
公共施設等：国土数値情報 都市地域土地利用細分メッシュ（平成26年度）より作成

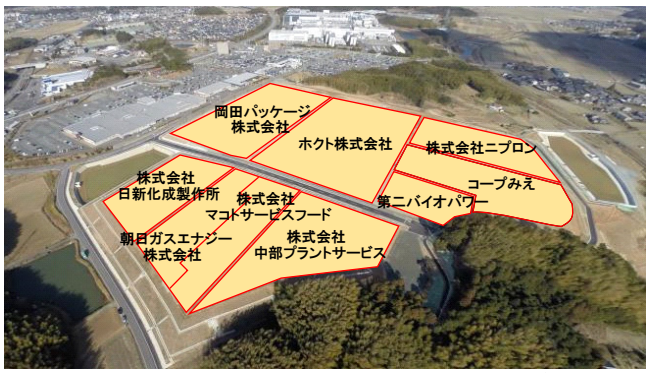
## 多気クリスタルタウンへの企業進出状況

**バイパス整備後も、企業進出拡大**




※多気町提供資料より作成

## 多気クリスタルタウン工業ゾーン立地企業




※多気町提供資料より作成

## 令和3年以降新たに稼働予定の3工場の雇用者数

**3社合計で 290名 を雇用！**

| | 正社員 | パート アルバイト |
|---|---|---|
| ホクト株式会社 | 46名<br>地域社員 144名 | 0名 |
| 株式会社ニプロン | 60名 | パート 5名<br>派遣社員 3名 |
| 岡田パッケージ株式会社 | 30名 | 2名 |

※紀勢国道事務所ヒアリング調査より作成

# 買物など日常生活に便利なバイパスルートが誕生！

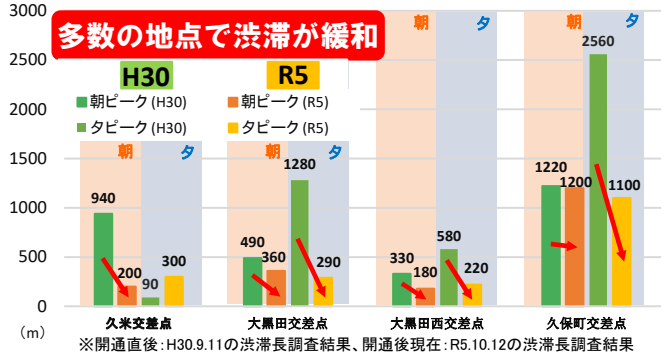
多気クリスタルタウンショッピングセンター

❖松阪多気バイパスの開通（H30.3.18開通区間）により、松阪市内の主要渋滞箇所の渋滞が改善、小津町交差点⇔多気クリスタルタウン間の所要時間がバイパスの利用で約15分短縮。

❖松阪多気バイパスが開通したことで、多気クリスタルタウンの店舗では物流が安定したとの声もきかれる。

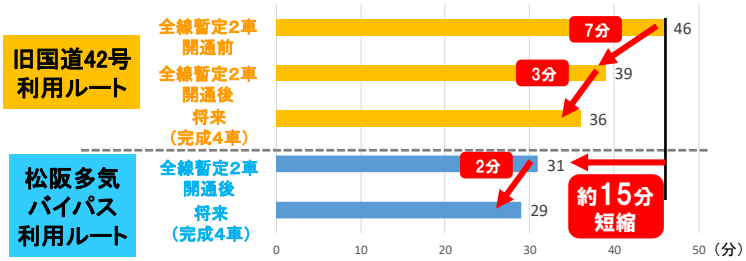
【利用ルートの変化】

## 主要渋滞箇所（4箇所）での渋滞長の減少（H30年・R5年）




※開通直後：H30.9.11の渋滞長調査結果、開通後現在：R5.10.12の渋滞長調査結果
※方向別の最大渋滞長を年毎に合計し算出

## 所要時間の変化（小津町交差点⇔多気クリスタルタウン）




出典
全線暫定２車開通前：H27年全国道路・街路交通情勢調査
全線暫定２車開通後：平日ETC2.0データ（R1.12月）16-18時台　平均旅行速度より算出
将来（完成４車）　：交通量推計結果より整備前後の所要時間の変動率を算出し現況に乗じて算出

以前より、旧国道42号線が非常に渋滞しており、物流並びに通勤に支障をきたすことが多かったが、松阪多気バイパスが開通したことにより、三重県北勢地域からの物流が安定した。

［マックスバリュ多気店の声］

※紀勢国道事務所ヒアリング調査より作成



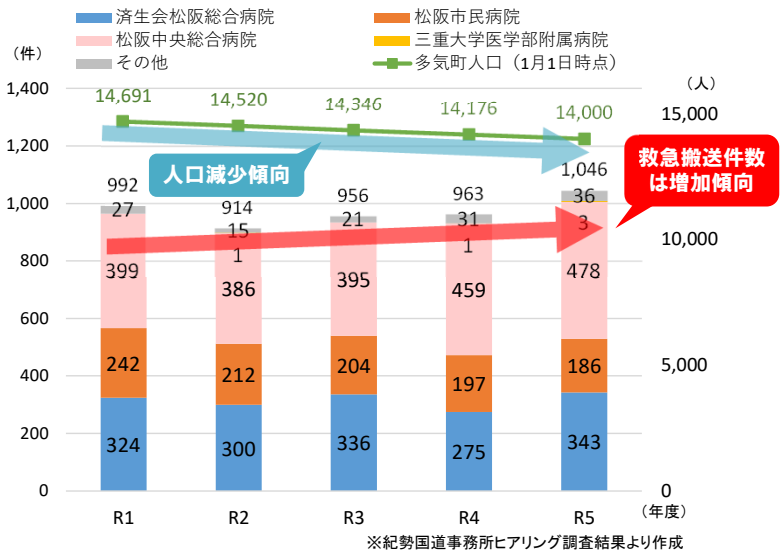
2024.5

# 救急医療の支援

❖多気町の人口は減少傾向にあるなかで、多気町から松阪市内の病院への救急搬送件数は増加傾向。

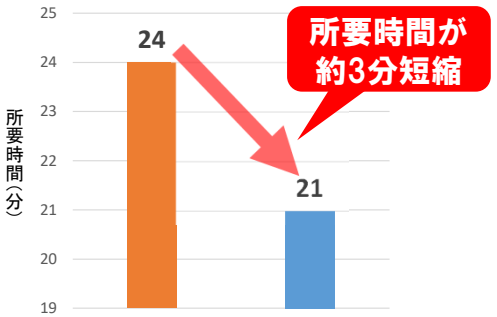
❖松阪多気バイパスの整備により、多気町から済生会松阪総合病院への所要時間が3分短縮され、高度な医療が早く受けられるようになる。

## 多気町からの救急搬送数




※紀勢国道事務所ヒアリング調査結果より作成

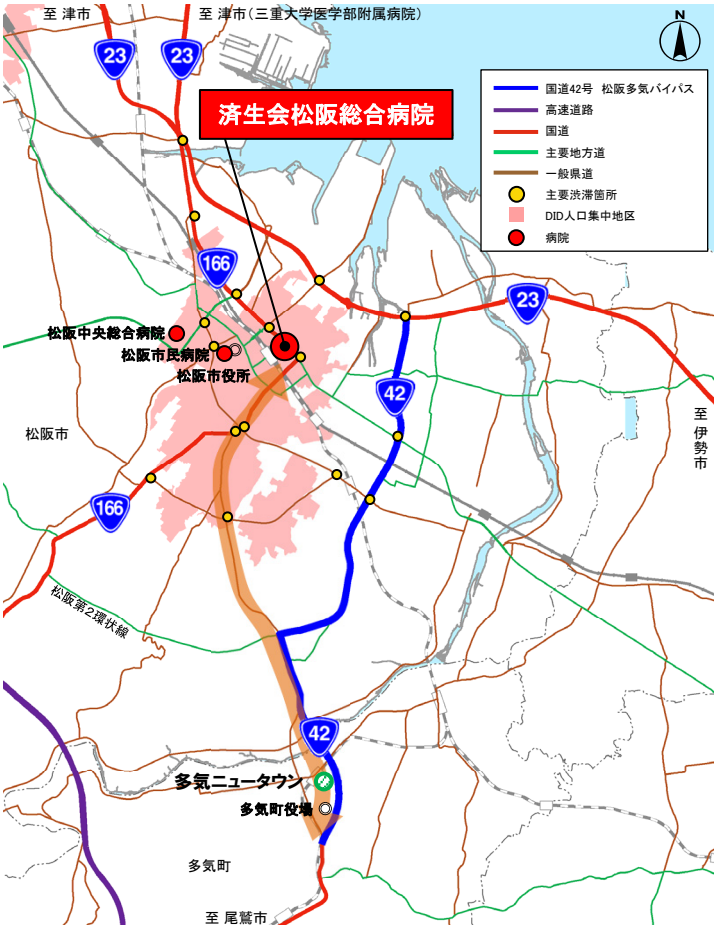
## 所要時間の変化（多気町から済生会松阪総合病院）




※道路交通センサス（H22、H27）より作成

【多気町からの済生会松阪総合病院への利用ルート】

※朝夕の道路混雑状況や現場位置によって利用するルートは変わります。



H29年度開通区間（松阪市下蛸路町）

# 国道42号 松阪多気バイパス整備効果検討会

三重県　松阪市　多気町　国土交通省

2024.5